とかち新聞
主筆 松山明
（発行所）北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1部70円1ヵ月200円　1ヵ年前納2,000円

大詰めの町長・町議選 その展望

四年に一度の町長、町議選は、住民が直接に町政にタッチするただひとつの機会で、一票の差で当落が左右されようという身近なスリルのある選挙だけに、候補者も有権者もどの選挙よりも力の入る一戦!。

立候補者といってもいずれも町内のおなじみの顔ぶれで、ことさらに大さわぎするほどのこともないのに、国会議員や道段階の選挙なみに後援会づくりから街頭連呼まで型どおりの〃選挙公害〃ぶりを発揮しなければならないとあってはだれでも気がるに立起するわけにはいかないので、町長にしても議員にしてもその町のベストの人物ばかりが出馬するとはかぎらず、いきおい自ら意慾があって集票能力のある人に限定されてくるようです。

サテ大詰めを迎えての足寄、陸別両町の情勢を展望してみました。

陸別の場合
たった一人の落選者は

無競争で町長の座についた杉田稔氏に二期目の今回も対抗馬がなく、そのためもあって議員の立候補者の顔ぶれもすくなくひところは町長選もないうえに町議選もないのでは格好がつかないと心配されたほどですがようやく定員十八名に対して一名オーバーとなってどうにか選挙へ!

したがってたった一人の落選者はだれかが注目の的で、前回も一票差で泣き笑いの場面があったキワドイ選挙だけにお互いにハラハラの一週間。

大票田の市街地区からは竹内千代蔵、渡辺平吉、宮古秀、矢舗正信、林保治、鹿野竹男、池尻英治、国部高延、高橋一吉の現議員ばかりの九氏。

トマム地区からは松台国雄、高橋誠の現議員二氏に新藤万亀男元議員に北村国義、藤沢勉、谷郁司の新人三氏の計六名。

上陸地区から西野一郎氏（現）と西岡光男氏（新）

小利別地区からは佐々木茂雄氏（現）と西村秀盛氏（元）で、村松武範氏（新）も周囲から推されて立起の体制でしたが三名乱立は無理として、次期は交替して出馬とのこと。

そこで前回の実績によれば、市街地区からは十二名が出馬して全員が当選、トマム地区からは今回と同じく六名が出馬して四名が落選、上陸地区からは二名が出馬して二名当選、小利別地区からは二名が出馬して一名が落選となっているので、その例からすればトマム地区がもっとも危険地帯となるわけですが!。

足寄の場合
小林派「勝利は目前に」 岡派「追い上げに自信」

八年ぶりの町長選を迎えたものの当初は小林弘道氏の無競争三選の空気にあったために岡靖氏の立起は意外な感じでもりあがらず、現職の小林氏に対抗してみてもせいぜい四分六のたたかいとみられていましたが、日を追うにしたがって両派それぞれの支持勢力が接近してきたようで大詰めに入って勝算の見通しを両派の参謀にきいてみました。

二期八年の小林町政は大きた失敗はなく、川上、高橋町長時代を通じて未解決の難問題だった公用廃止地や役場庁舎敷地問題を解決して町内外の信頼をとり戻し、八年間に六十億円におよぶ新規事業を達成し、本年はラワンと上利別の二カ所に基幹集落センター建設の内示があったように、一町村で二カ所同時着工は他町村にみられない政治力であり、一月に議決した後期振興五カ年計画を立案したものとしてこれを執行していく責任があり、これまでの実績からも必ずそれを果す人であり、緑の高原都市づくりをかかげてきてようやく小坂山周辺に四百億円もの開発事業がはじまろうという大事なときに最高責任者がかわってはならない、年令にしても相手よりひとまわりも若く、青年、婦人はもとより保守、革新を問わず六千五百名以上の後援会員が結集しており、三選勝利は目前で心配はないといっています。

これに対して岡派の側としては、後援会員名簿などはお互いにダブっているもので、両派の名簿を合計すれば有権者よりもズッと多くなる、現職の強味で心ならずも名前は書くが果してそれが票になるかどうかは別問題で、こちらも六千名近くまでいって一服状態となってひところは悲観的な空気にもなったが、二十日からの本番に入ると俄然空気が変った。街頭演説をはじめると相手より二倍も三倍もの聴集があつまってくる。しかも労働組合の人たちが激励してくれている。地区労として小林氏推薦を決めたが、それは上のことでわれわれは岡を支持するという、これで勝てる自信がついた。その理由を調べたら岡氏が後援会の大会で公然と社会党の保格道議候補の推薦をブッたので、これは困ったと!やめてほしいと注意したが、逆に三笠通りで保格候補と握手している信念の強い男だ、あとで保格新道議にきいてみたところ、十九カ町村の教育長のなかでは岡さんがもっとも革新派だったそうで、なるほどと思った、地区労や社会党が推薦した小林氏がサッパリ革新的でなく、町と議員関係にある土建業者が先頭に立っていることにも反発しているようだ、本当は地区労としては三十五年間にわたって役場づとめひと筋できた仲間の岡氏を推薦すべきだったなどの声がひろがっているし、市街の商工業者は商売上どちらにもつかない態度をとっているが六割はこちら側であり、表面に出ていない岡支持の動きは根強く絶対に追いあげている、岡氏が人脈の活用を打ち出しているのは兄弟二人が道の幹部であり道議にも親戚がいることで、そこへもってきてねばり強い政治力からもだれが町長になるよりも仕事がし易く町のためになることがわかってきたーと自信のほどを示しています。

これまでの例からすれば川上町長にしても高橋町長にして二選まではいくが三選になると新人に負けていることで、この点からも岡氏にはチャンスとみているようですが、しかし三選は至難とのジンクスは小林氏の若さと人気からすれば打ち破れるとの見方も強く、川上氏や高橋氏の場合と違ってこんどは現職が有利とみられているものの八年前に小林氏に敗れた高橋氏の側の勢力が岡氏支持にまわっていることで、一種の復讐戦といった格好で熱が加わっている面もあり予断を許さないということです。

（以下裏面へ）

長岡一代
春の野菜苗
夏キャベツ
トマト
なす
なんばん
ピーマン
抜き立ての苗は
武藤野菜店
足寄町 T二七一二
足寄町農協の購売店舗でも販売いたしております

26日オープン
足寄にはじめて釣具専門店
釣道具　釣餌　釣着
などいっさい取揃えております
山井釣具店
足寄町大通り T三二七五

陸別町議会議員候補者
池尻英治
このたびの改選にあたり再度の御推薦をいただき心から御礼申し上げます。住み良い豊かな町作りのため力の限り情熱をそそいで行く決意でございます。
一、お年寄りために長生きをして良かったと思われるような事を
一、青少年には希望と夢の持てる政策を
一、御婦人には婦人の立場を理解し、婦人の進出に努力を
一、小さな子供達には暖い愛情で子供達を守る政策を
一、地方自治を守るために働くすべての人達を守るための政策を

私は過去8年間の議会活動を反省し地方自治の基本であります主権在民の精神から町民皆様の声が真に行政に反映する町政実現のため努力いたします

陸別町議会議員候補者
矢舗正信
当選二回
陸別町議会運営委員長

陸別町議会議員候補者
渡辺平吉
町議会産業厚生委員長
（前総務委員長）
町森林組合常務理事
町防犯会会長
社会福祉協議会副会長
製材協同組合理事長
町法人会会長
一、教育振興と体育振興、福祉事業の推進
一、農林道、町道、道々、国道の舗装促進、下水道の整備
一、公営住宅、基幹集落センター、中学校舎などの新築促進
一、森林事業の育成と関連企業の振興について
一、商工業、農村の経済安定対策と酪農振興について
一、過疎対策と企業誘致について
ーその他ー

陸別町議会議員候補者
竹内千代蔵
陸別町議議会長二期
社会福祉法人
北勝光生会理事長
福祉の充実をはかり
人情味溢れる
人間性豊かな町政
地場産業の育成

陸別町議会議員候補者

高橋　誠
人間尊重の立場にもとずき生活の環境を第一に、
産業基盤の道路の整備、
健康管理の普及と明るい
生活づくりに努力する
当選一回
トマム地区
地集電話組合長

陸別町議会議員候補者
西岡光男
石油ショックいらい、食糧問題が叫ばれ、政府もそれぞれの対応策を立てようとしているとき『なにを求め』『なにをなすか』を適確にとらえて町政に反映せしめ、道や国に対しても町を通じて要求してゆく所存であります。
町財政の確立をはかり、教育問題など、特に次の世代を担う青少年対策にも真剣にとりくみ希望のもてる場をつくることに全力をあげる覚悟であります。
私はもとより浅学非才でありますが、誠心、誠意努力いたします。

町■業委員
町国保運営委員

人間尊重を基本とした
生活できる酪農の確立
既存の企業を育成強化して
安心して働ける職場に
明るく住みよい町づくりに
努力いたします

陸別町議会議員候補者
北村国義
町総合開発計画審議会産業建設部会副部会長
[illegible]